

平成 24 年 8 月号

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

平成 24 年 8 月 1 日(第 88 号)



* * * * *

市原ぞうの国へ行ってきました。

6 月 26 日 (火)、千葉市療育センターの福祉バス「たいよう号」を利用して、市原ぞうの国へ行ってきました。不規則な天気が続く、梅雨の合間でしたが、前日までのはっきりしないお天気とは打って変わって、当日はスッキリとよく晴れ、寒くもなく暑くもなく絶好の行楽日和!

メンバー、家族、ボランティア総勢 16 名が参加して、呼び物のぞうのショーでは、鼻にぶら下がったり、背中に乗ったり、様々なアクションに感心したりして楽しい一日を過ごしました。



* * * * *

<音楽セミナー>みんなが元気になるために！～みんなで歌おう～

6月22日（金）今年で3年連続の岡崎ひとみさん（写真中央）による音楽セミナーに参加しました。

私たちがもっとも楽しみにしているイベントのひとつでした。

歌う時に適した呼吸法、姿勢など体を使って学んでいくうちに、早々と心も体もリラックスしてきました。また「われは海の子」など昔の童謡の歌詞の説明を聞いてから歌うと、その情景が目浮かび歌詞の大切さも知りました。

そして「幸せなら手をたたこう」を参加者全員がまあるくなって、ゲーム感覚で歌ったときは初めて会った人たちという垣根もなくなったようで、音楽の力の不思議さを感じました。



NPO 総会

5月27日のNPO総会にて、平成24年度のNPO役員は、理事長には大庭茂男（家族会会長）、理事には加瀬智之（メンバー）、平鹿百合子（施設長）、廣井良典（千葉大学教授）、堀内勝（家族会）本田ともみ（学生ボランティア）、宮本博文（ボランティア）、監事には藤田裕子（ボランティア）（以上敬称略）に決まりました。

新理事長に就任して

新しく理事長に就任した大庭です。よろしくお願ひいたします。

また、前任者の平鹿さんには施設長として、武ノ上さんにはスタッフとして日常の会の運営をお願いしていきます。

おかげさまで、けやきと仲間とその家族会も年々さかんになってきています。

今後のけやきと仲間の運営については、メンバーと理事会、家族会の皆さんと進めて行きたいと考えております。

私の基本的な思いは『話し合いとメンバーの和』です。日々、いろいろな事が起こります。いい事も困った事も多種多様です。

一般社会でも人それぞれ考え方が異なりますが特に我々のような団体では助け合いが必要です。そのためには独断で行動せず話し合いをしましょう。

そのため理事会にメンバーの人が参加して意見を言ってもらえる場を作っており、また私と話したい人は連絡ください。できるだけ時間を作りたいと思っています。

メンバーと家族の皆さんが昨日より今日、今日より明日が少しでも良くなっていくよう一緒に努力していきましょう。

大庭茂男

リレー小説

第7話 最終話

「うーん。」女は頭を抱え込んだまま、座り込んでしまった。

「先生、どうしたんだよ。頭痛いのか？」

「何のこれしき。ちょっと頭がパンクしそうになっただけよ。とにかく、悪いことしたんだから、ちゃんと謝ること。そして何か悩んでいることがあれば、いつでも私に相談しなさい。」女はそう言うのと立ち上がって帰ろうとしたが、体がふらついてしまった。

生徒はくすくすと笑いながら、「頼りねえなー」と言って肩を貸した。

「大丈夫かよ。」

「ありがとう。」

（あ、そういえばアレクは？）女はアレクを探したが、見つからなかった。

「何、キョロキョロしてんだよ、先生。」

女は窓の外を見た。そこには、ただケヤキの木が風に吹かれてゆれているだけだった。

（不思議な奴。）

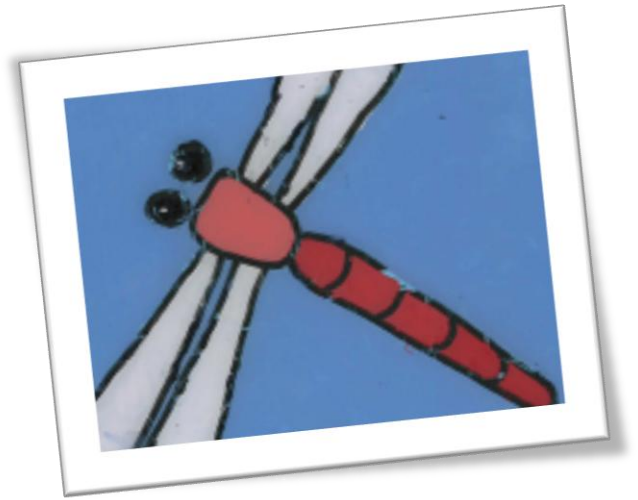
いつか、あなたの前にもアレクが現れるかもしれない。その時が来たら、ちょっと耳を傾けてやって欲しい。きっと人生のスパイスになるだろうから。（完）

担当 JUN

南風

福祉の人に連れてもらって
人工海岸へ行った
南風が青い
思考が停止するほどの波の音
友達三人で
好きな女の名前を叫んだ
あの赤い朝日の浜
ずいぶん闘った人生だったけど
本当に南風が青いんだ 青いんだ

Y.H



川 柳

この季節出会いと別れそれぞれに

教会かけやきに行くか悩みます

疲れすぎそういうあなた気張りすぎ

副作用歩きづらくてたまんない

ころぶなよ家まで送った心配で

川柳で心の整理できました